

# JIS

## 軟質発泡材料－物理特性－ 第7部：通気量の求め方

JIS K 6400-7 : 2012

(JRMA/JSA)

平成 24 年 12 月 20 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 化学製品技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	土 肥 義 治	独立行政法人理化学研究所
(委員)	穴 澤 秀 治	一般財団法人バイオインダストリー協会
	井 上 進	一般社団法人日本化学工業協会
	今 井 勇	日本ゴム工業会 (株式会社ブリヂストン)
	植 田 新 二	一般財団法人化学物質評価研究機構
	大 石 奈津子	財団法人日本消費者協会
	岡 崎 雅 之	公益社団法人自動車技術会 (株式会社本田技術研究所)
	香 山 茂	一般財団法人化学研究評価機構
	河 田 崇	独立行政法人住宅金融支援機構
	佐 藤 浩 昭	独立行政法人産業技術総合研究所
	高 橋 俊 哉	社団法人日本塗料工業会
	田 和 健 次	石油連盟
	松 永 孝 治	日本プラスチック工業連盟
	松 永 直 樹	拓殖大学
	森 川 淳 子	東京工業大学

---

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 16.3.20 改正：平成 24.12.20

官 報 公 示：平成 24.12.20

原 案 作 成 者：日本ゴム工業会

(〒107-0051 東京都港区元赤坂 1-5-26 東部ビル TEL 03-3408-7101)

一般財団法人日本規格協会

(〒107-8440 東京都港区赤坂 4-1-24 TEL 03-5770-1571)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会 (部会長 稲葉 敦)

審議専門委員会：化学製品技術専門委員会 (委員長 土肥 義治)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 基準認証ユニット産業基盤標準化推進室 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

## 目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	2
4 原理	2
5 A 法	2
5.1 試験装置	2
5.2 漏れ試験	4
5.3 試験片	4
5.4 試験の一般条件	4
5.5 試験方法	5
5.6 試験報告書	5
6 B 法	5
6.1 試験装置	5
6.2 試験片	6
6.3 試験の一般条件	6
6.4 試験方法	6
6.5 試験報告書	6
附属書 A (参考) B 法で使用する通気量自動測定装置	9
附属書 JA (参考) JIS と対応国際規格との対比表	12
解 説	14

## まえがき

この規格は、工業標準化法第 14 条によって準用する第 12 条第 1 項の規定に基づき、日本ゴム工業会 (JRMA) 及び一般財団法人日本規格協会 (JSA) から、工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本工業規格である。

これによって、**JIS K 6400-7:2004** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

**JIS K 6400** の規格群には、次に示す部編成がある。

- JIS K 6400-1** 第 1 部：通則
- JIS K 6400-2** 第 2 部：硬さ及び圧縮応力-ひずみ特性の求め方
- JIS K 6400-3** 第 3 部：反発弾性の求め方
- JIS K 6400-4** 第 4 部：圧縮残留ひずみ及び繰返し圧縮残留ひずみ
- JIS K 6400-5** 第 5 部：引張強さ、伸び及び引裂強さの求め方
- JIS K 6400-6** 第 6 部：燃焼性
- JIS K 6400-7** 第 7 部：通気量の求め方

# 軟質発泡材料—物理特性—第 7 部：通気量の求め方

## Flexible cellular polymeric materials—physical properties— Part 7: Determination of air flow value

### 序文

この規格は、2010 年に第 2 版として発行された ISO 7231 を基に、技術的内容を変更して作成した日本工業規格である。

なお、この規格で点線の下線を施してある箇所は、対応国際規格を変更している事項である。変更の一覧表にその説明を付けて、附属書 JA に示す。

### 1 適用範囲

この規格は、軟質発泡材料の通気量の求め方として、2 種類 (A 法及び B 法) の方法について規定する。

この規格の A 法はシール材を除く用途に用いる軟質発泡材料に適用し、B 法はシール材などの低通気性用途を含む全用途に用いる軟質発泡材料に適用する。

なお、A 法は、受渡当事者間の協定によって、シール材の用途に適用してもよい。

**警告** この規格に基づいて試験を行う者は、通常の実験室での作業に精通していることを前提とする。この規格は、その使用に関連して起こる全ての安全上の問題を取り扱おうとするものではない。この規格の利用者は、各自の責任において安全及び健康に対する適切な措置をとらなければならない。

**注記 1** 通気量は、軟質発泡材料の配合及び製造上の変動による、発泡状態の変化の管理又は評価として用いられることがある。

**注記 2** この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

ISO 7231:2010, Polymeric materials, cellular, flexible—Determination of air flow value at constant pressure-drop (MOD)

なお、対応の程度を表す記号“MOD”は、ISO/IEC Guide 21-1 に基づき、“修正している”ことを示す。

### 2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版 (追補を含む。) を適用する。

JIS K 6200 ゴム—用語

JIS K 6400-1 軟質発泡材料—物理特性の求め方—第 1 部：通則

JIS Z 8401 数値の丸め方